

参加費
無料
定員60名

明治電機工業株式会社

第二回 非破壊検査セミナー 活用編

2019年

10月24日(木)

開場:12:55 場所:明治電機工業(株)

13:10-17:30

～自動車、電機・電子業界における非破壊検査の活用法～

近年、自動車の軽量化、異種材接合、電動化、自動運転技術などの技術開発が必要とされる中、高い信頼性が要求されています。

今回は第二回目という事で、より具体的な活用事例、最新技術をご紹介します。

時間	タイトル	発表者	内容
13:10~13:15	開会挨拶	明治電機工業(株)	
13:15~14:00	接着の力学 (基礎から応用まで)	東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 教授 佐藤千明氏	接着接合は航空機からエレクトロニクスまで非常に広範な分野で使用されています。化学的な側面が重要であることは言うまでもありませんが、実は力学的な側面も極めて重要です。本公演では接着接合部の力学的な側面、並びに耐久性等の評価に必要なポイントについて解説を行います。
14:00~14:10	休憩		
14:10~14:50	サーモグラフィによる 非破壊検査事例紹介	(株)ケン・オートメーション 取締役営業技術担当 高尾 邦彦氏	近年、新素材及び新方式による接合技術が広く知られるようになってきましたが、それらの品質を保証するために非破壊計測による検査需要が高まってきております。今回はサーモグラフィを用いた、これらの非破壊検査事例についてご紹介させていただきます。
14:50~15:30	プロジェクション・モアレ式 高精度反り測定システムによる 実装基板の3次元解析	日本バーズ(株) 東京営業部 中川 渉氏	近年の車載搭載用を含む電子実装部品は過酷な温度環境にて使用されています。高温になることにより実装部品構成材料の熱膨張差に起因する、実装された部品及び実装基板の反りが発生し接合不良となり信頼性低下の一因となっています。最新のプロジェクションモアレ方式は従来の方式よりも大きな段差を持った状態での平坦度評価が可能になっています。また各部位の熱膨張係数(CTE)を3D計測と同時にを行うことにより、高精度な平坦度を確認することが可能であり、高速でリフローのシミュレーションが再現出来ます。実際の基板の挙動と併せ検査方法として紹介します。
15:30~15:40	休憩		
15:40~16:20	はんだ付け接続信頼性評価に X線CTは有効か？ 計測用X線CTスキャナについて	エクスロン・インターナショナル(株) 営業統括部 ELE統括リーダー 清宮 直樹氏 営業統括部セールスマネージャー 出光 広樹氏	X線透視(2D)とCT(3D)それぞれのメリット/デメリットを明らかにしたうえで、はんだ付け接続信頼性評価におけるX線観察の活用方法をご提案します。 近年、複雑な形状の製品をより高い精度で寸法計測するニーズが増えています。本セミナーではエクスロンの高分解計測用X線CTスキャナーをご紹介します。
16:20~17:00	合否判定だけではもったいない。 VGSTUDIO MAXIによる CTデータの広範な活用方法	ポリウムグラフィックス(株) セールsteam 木下 修平氏	VGSTUDIO MAXおよび、各種オプションモジュールを使用する事で、可視化や目視検査などの定性的な評価だけでなくとどまらず、計測/検査/解析を実行し定量化が可能になります。その定量化したデータを合否判定だけではなく、幅広い活用方法、例えば実データを用いたシミュレーション等を紹介いたします。
17:00~17:15	名刺交換会		

セミナー時間内に質疑応答5分含みます。誠に申し訳ございませんが、本セミナーはユーザー様限定とさせていただきます。

セミナー詳細・お申込み方法

お申込みは下記URLから宜しくお願い致します。

<https://meijidenki.web-tools.biz/hihakai/>

<セミナー名> 第二回非破壊検査セミナー活用編【自動車、電機・電子】

<開催日時> 2019年10月24日(木) 13:10~17:30 (開場 12:55)

<開催場所> 明治電機工業株式会社 本社地下1階

<開催住所> 〒453-8580 愛知県名古屋市市中村区亀島二丁目13番8号

<最寄り駅> 名古屋駅新幹線口から徒歩7分



お問い合わせ先: 明治電機工業株式会社 セミナー事務局 尾田
TEL:052-451-7658 FAX:052-451-7665 mail:sol@meijidenki.co.jp



太閤口(新幹線口)より
北西へ徒歩約5分